

青谷高校生徒会による

台風19号災害義援金の募金活動（10月30日～11月1日）の紹介

近景遠望
青谷高の生徒が、地元スーパーなどで台風19号の被災地への義援金募金活動を行った。頭を下げながら呼び掛ける生徒たちに「こんなことできるなんて本当に偉いね。うれしい」と声を掛ける地域住民の姿が、笑顔を見せる生徒たち。学校関係者は「地域の方に見守られている。本当にありがたい」と目を細める。課題探究の発表会でも、地域住民に熱心に説明する生徒の姿を取材したばかりだった。地域と高校生の良い循環が生まれつつあるのを感じた。
(子)

令和元年11月3日（日）のコラム記事

令和元年11月8日（金）の記事

**台風19号被災地
支援へ募金活動**
青谷高生

青谷高の生徒が、学校周辺の駅やスーパーで台風19号災害義援金の募金活動を行った。被災地に思いを寄せ、支援を呼び掛けた。生徒会執行部の11人が参加。通勤通学時間帯の朝はJR青谷駅前、放課後は地元のスーパで3日間かけ行った。

鳥取市青谷町青谷のサンマート青谷店前では、生徒4人が「義援金募集中です。よろしくお願いします」と呼び掛けた。生徒会長で2年の前田李之さん（16）は「同年代の高校生も大変な思いをしている人がいる。少しでも助けになれば」と話した。
(渡辺暁子)



募金活動をする生徒ら

